

令和元年度
福祉の仕事・職場を目指す学生の意識調査
「報告書」

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

はじめに

現在、少子高齢化、人口減少等により生産年齢人口が減少し、労働力人口も減少が懸念される中、福祉・介護サービス分野における人材の確保が深刻な課題となっています。

本県の福祉・介護人材の状況についても、いまだに震災・原発事故の影響もあり人材確保が困難で本会が行っている無料職業紹介事業においても、有効求人数が有効求職者数を大幅に上回る、いわゆる人手不足の厳しい状態が続いています。

このような状況を踏まえ、本会では、これから福祉分野への就労を希望する学生の考え方、意識を把握し、社会福祉施設や事業所においての人材の確保や、職員の定着に役立てていくために本調査を実施し、その結果を取りまとめ報告書を作成しました。ご活用いただければ幸いです。

最後に、お忙しい中、本調査にご協力をいただきました福祉養成校及び学生の皆様に御礼申し上げますとともに、今後とも関係の皆様のご理解、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和2年3月

社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

— 目次 —

I	調査の概要	1
II	調査結果のまとめ	2
III	調査結果	
問1.	(1) 回答者の性別	4
問2.	(2) 回答者の年齢	5
問2.	回答者の所属と学年	6
問3.	回答者の学科	7
問4.	福祉に興味を持った時期	8
問5.	福祉に関するイベントに参加した内容	9
問6.	福祉に関するイベントに参加した理由	10
問7.	現在の学校を選ぶうえで優先したこと	11
問8.	福祉の仕事に関するイメージ	
	(1) 社会的意義	12
	(2) 将来性	13
	(3) 長く働ける	14
	(4) スキルアップ	15
	(5) 知名度や評判	16
	(6) 収入が安定	17
	(7) 休日が取りやすい	18
	(8) 向き不向き	19
問9.	卒業後の進路	
	(1) 福祉の職場への就職	20
	(2) 希望する分野	21
	(3) 希望しない・わからない理由	22
問10.	就職先を決めるにあたり重視すること	23
問11.	就職活動に必要な情報	24
問12.	就職活動の際に活用していきたいもの	25
問13.	就職するにあたって不安に思うこと (自由記述)	26
問14.	福祉業界のPR・啓発活動への意見 (自由記述)	29
IV	調査票	32

I 調査の概要

1. 調査の目的

少子高齢化が進行し、労働人口の減少が見込まれる中、福祉の職場における人材の確保が喫緊の課題となっております。

このような現状を踏まえ、本調査は福祉の職場を目指す学生の考え方（意識）を把握し、今後の求職相談、求人側の理解促進、求人開拓などに繋げていくことを目的に実施します。

2. 実施主体 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会

3. 調査対象 福島県内の福祉関係の養成校に在籍する学生

4. 調査期間 令和元年9月9日（月）～10月16日（水）

5. 調査方法 本会から学校へ送付する調査票を学生に配布いただき、
調査票を回収のうえ、本会へ返送いただく方法

6. 調査票回収状況

対象者数 : 1,906 名

有効回収数 : 1,337 名

回収率 : 70.1%

Ⅱ 調査結果のまとめ

1. 学生の状況について

(1) 性別・年齢・所属 (4 ページ~7 ページ)

回答者の性別は「女性」の割合が 85.0%と高かった。学科別にみると「保育系」の女性が占める比率が 94.0%と非常に高くなっているが、それ以外は「介護系」で 56.8%、「相談・援助系」で 59.5%が女性となっている

回答者の年齢をみると、「10代」が過半数を占めており、「22歳」までで 95.4%を占めている。一方「30代」以上の回答者も若干在籍している。

所属については、介護系が「専門学校」、保育系が「短期大学」、相談・援助系が「大学」の学生が多かった。

2. 福祉職を目指すきっかけについて (8 ページ~11.ページ)

(1) 福祉に興味を持った時期

「中学校のとき」が 35.7%と最も多く、次いで「高等学校のとき」、「小学校のとき」の順となった。また、学科別にみると、介護系、相談・援助系では「高等学校のとき」が最も多いが、保育系では「中学校のとき」「小学校のとき」が多い。

(2) 福祉に関するイベントに参加した内容・理由

参加したイベントは「福祉のボランティア体験」が 54.7%と最も多く、次いで「福祉の職場体験」であった。

イベントに参加した理由は「学校の授業・行事で」が 44.4%と最も多く、次いで「自分から興味を持ったから」であった。

(3) 学校選びで優先したこと

「資格が取れる」が 83.6%と最も多く、次いで「通学に便利が良い所」であった。

3. 福祉の仕事のイメージについて (12 ページ~19 ページ)

(1) 仕事の社会的意義、将来性

社会的意義が大きいかについては、「非常にそう思う」の割合が 71.6%と最も高く、「まあそう思う」と合わせると、96.4%が「社会的意義が大きい」と回答している。

将来性があるかについては、「非常にそう思う」の割合が 52.9%と最も高く、「まあそう思う」と合わせると、86.8%が「将来性がある」と回答している。

(2) 長く働ける、スキルアップできる

長く働けるかについては「まあそう思う」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 31.0%であった。「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせると、58.5%が「長く働ける」と回答している。

スキルアップしていけるかについては、「まあそう思う」の割合が 44.1%と最も高く、「非常にそう思う」と合わせると、86.3%が「スキルアップしていける」と回答している。

(3) 知名度や評判・収入・休日

知名度や評判が高いかについては「どちらとも言えない」の割合が 37.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」が 30.8%であった。

収入が安定しているかについては、「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合は 19.3%で、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合は 41.2%であった。

休日を取りやすいかについては、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合は 55.7%と半数以上で、「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合 10.7%を大きく上回った。

(4) 向き不向き

向き不向きがはっきり分かれるかについては、「まあそう思う」の割合が 40.6%と最も高く、「非常にそう思う」と合わせると、72.5%が「向き不向きがはっきり分かれる」と回答している。

4. 将来の希望等について (20 ページ~25 ページ)

(1) 卒業後の進路

卒業後、福祉の職場への就職を「希望している」割合は 70.1%で、「希望していない」の 10.5%を大きく上回った。

(2) 希望分野・希望しない理由

希望する分野を学科別に見ると、介護系の約 9 割が「高齢」、保育系の 9 割以上が「児童（保育）」を希望しているが、相談・援助系は「高齢」「障がい」「児童（保育以外）」「行政・社協」に分散している。

福祉の職場への就職を希望しない、または、わからないと回答した理由では、「他業種が気になる」が 45.9%と最も多かったが、「福祉の職場で働く自信がない」も 42.7%と多かった。

(3) 就職先を決めるにあたり重視すること

就職先を決めるにあたり重視することは「給料」が 82.2%と最も多く、次いで「仕事の内容」、「休日を取りやすい等の働きやすさ」などであった。

(4) 就職活動に必要な情報・活用していきたいもの

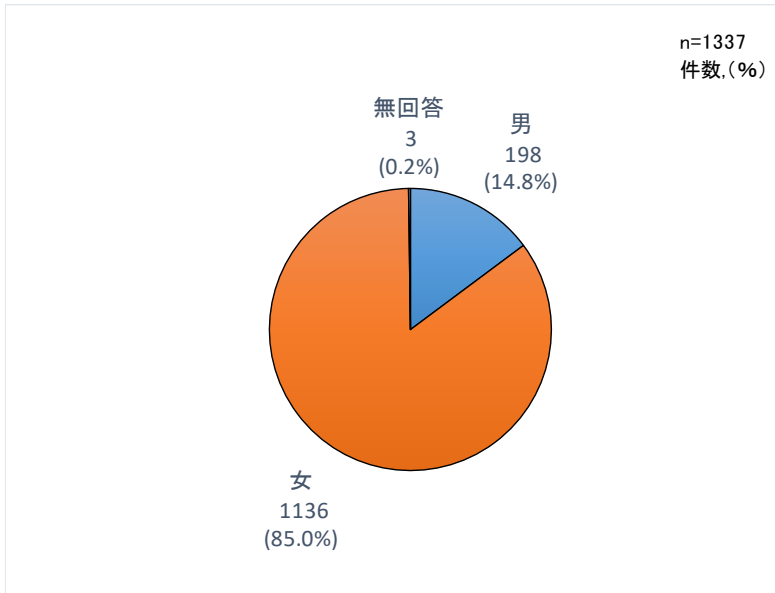
就職活動に必要な情報は「希望する分野や職種の募集状況」が 82.2%と最も多く、次いで「どこにどのような職場があるのか」、「職場体験・見学を受け入れているか」などであった。

就職活動の際に活用していきたいものは「学校の就職課（先生等の意見）」が 68.6%と最も多く、次いで「実習・ボランティア」「就職した先輩からの情報」などであった。

Ⅲ 調査結果

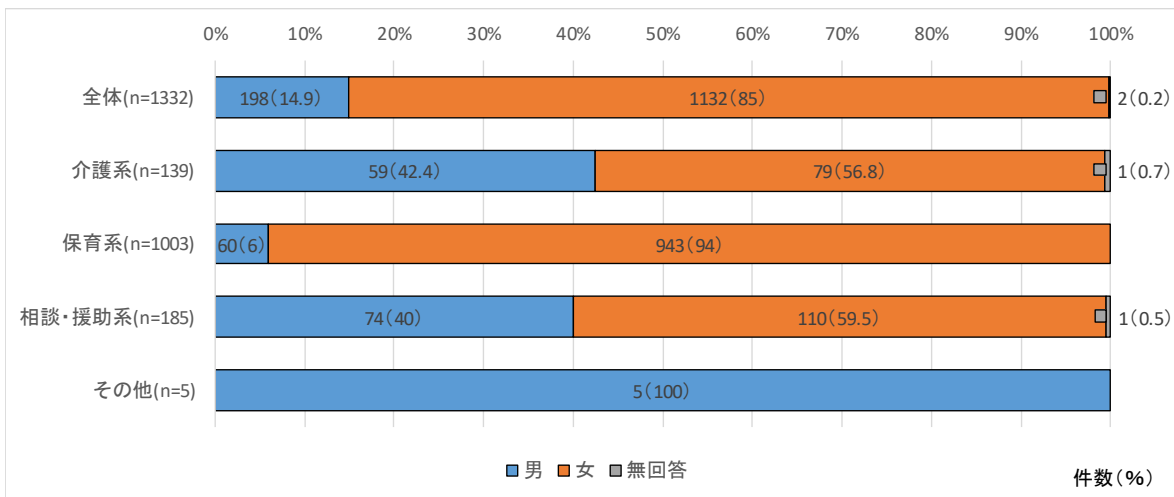
問 1- (1) 回答者の性別

図表 1- (1) -1 単純集計



回答者の性別は、「女性」の割合が 85.0%と高かった。

図表 1- (1) -2 学科別クロス集計



回答者の学科からみた男女の比率は、介護系、保育系、相談・援助系すべてで「女性」の割合が高かった。特に、保育系では 94.0%が「女性」であった。

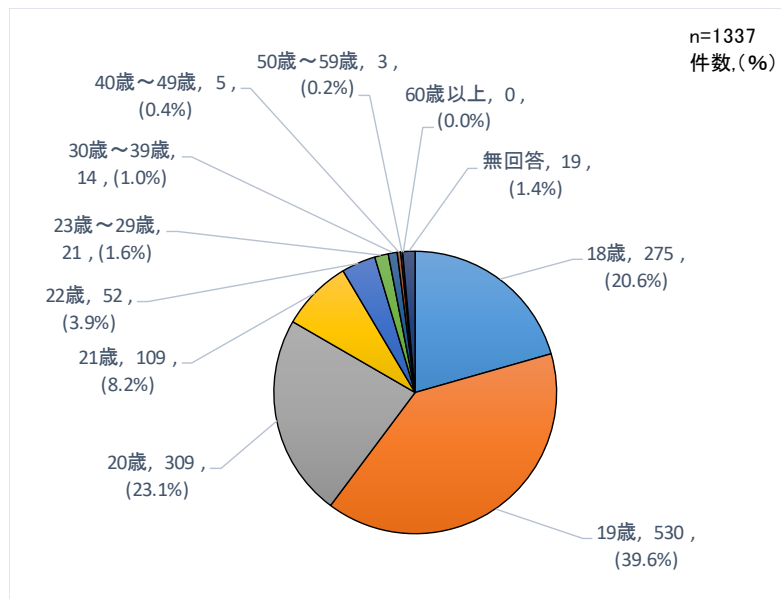
* クロス集計について

「学科」の設問に「その他」と回答した回答者が 5 名いたため、単純集計とクロス集計の合計回答者数には違いがある。そのため、全ての設問の単純集計とクロス集計の合計の集計結果には違いがある。

(問 3 回答者の学科 参照)

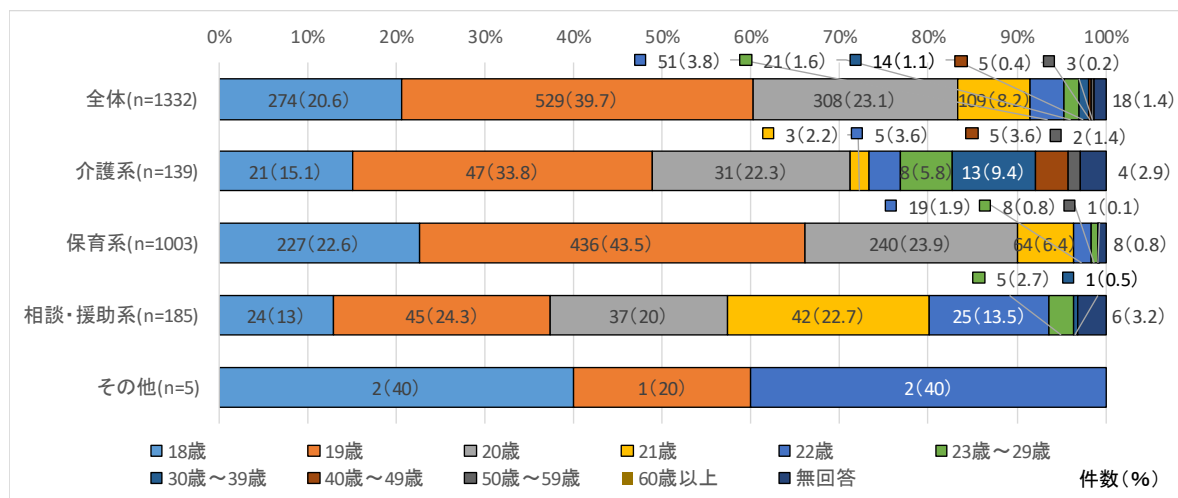
問1-(2) 回答者の年齢

図表1-(2)-1 単純集計



回答者の年齢は、「19歳」が39.6%と最も多く、次いで「20歳」が23.1%「18歳」が20.6%であった。22歳までが全体の95.4%を占めるが、30歳代、40歳代、50歳代の回答者もいた。

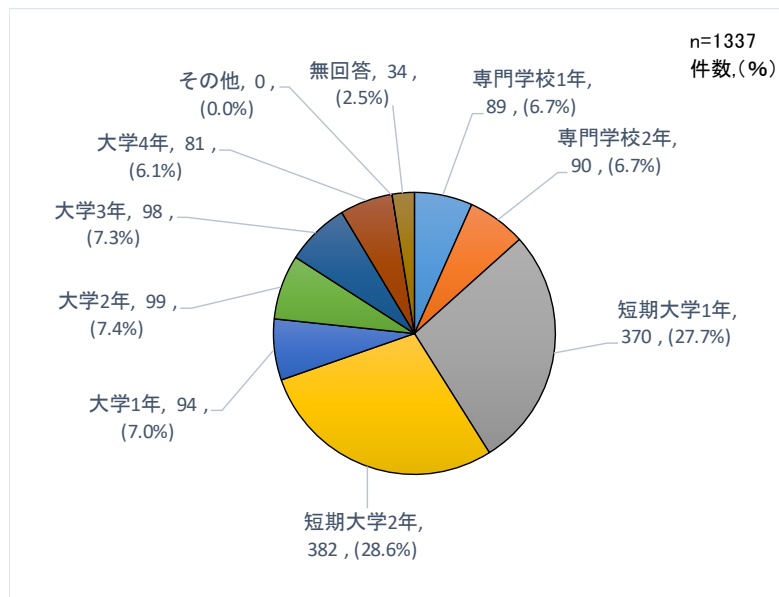
図表1-(2)-2 学科別クロス集計



回答者の学科からみた年齢は、介護系、保育系、相談・援助系すべてで「19歳」が多い。次いで、介護系、保育系では「20歳」が多いが、相談・援助系では「21歳」であり、「22歳」の割合も比較的高い。介護系では23歳以上の割合が20%以上と他学科と比較して高い。

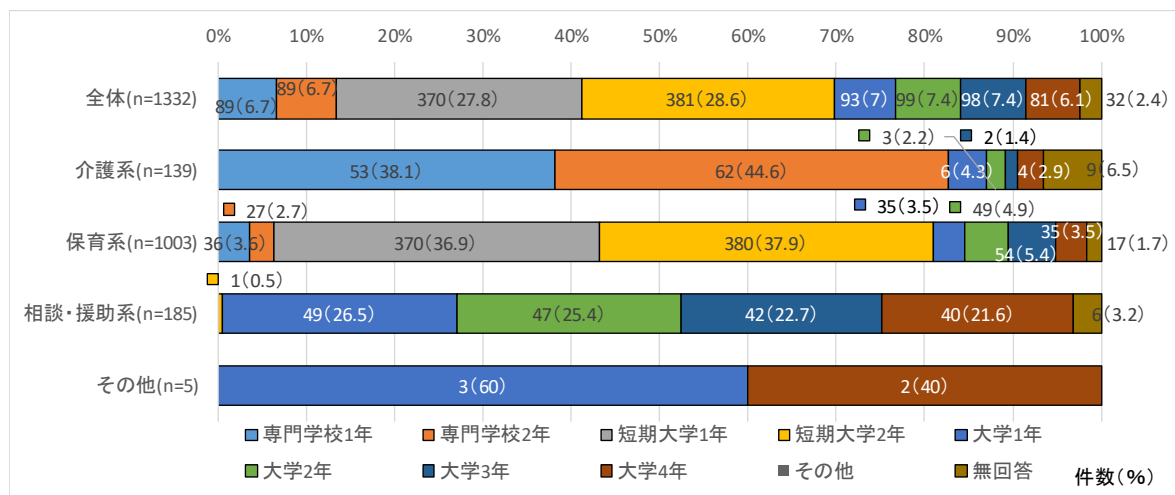
問2 回答者の所属と学年 (〇は1つ)

図表 2-1 単純集計



「短期大学2年」が28.6%と最も多く、ついで「短期大学1年」が27.7%であった。「専門学校」の学生は合わせて13.4%であり、回答者の69.7%が専門学校および短期大学の学生であった。

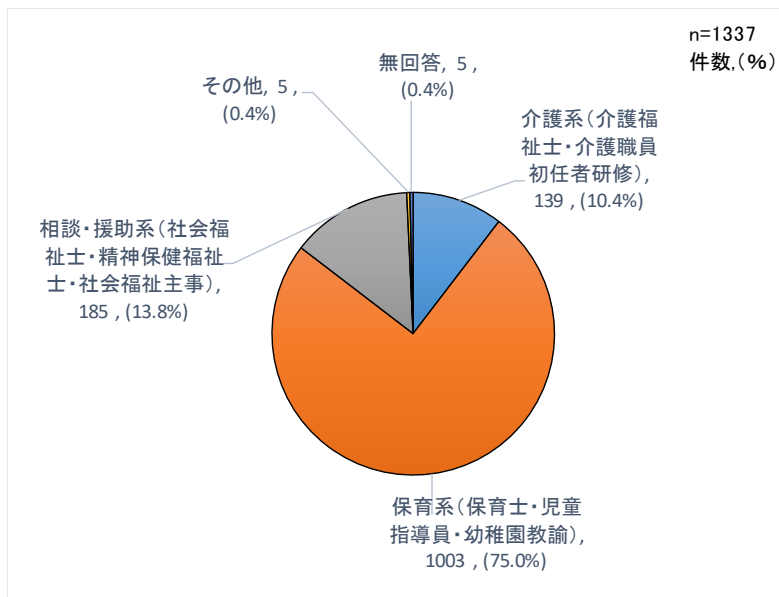
図表 2-1 学科別クロス集計



介護系は「専門学校」、保育系は「短期大学」、相談・援助系は「大学」の学生が多かった。

問3 回答者の学科（○は1つ）

図表 3-1 単純集計



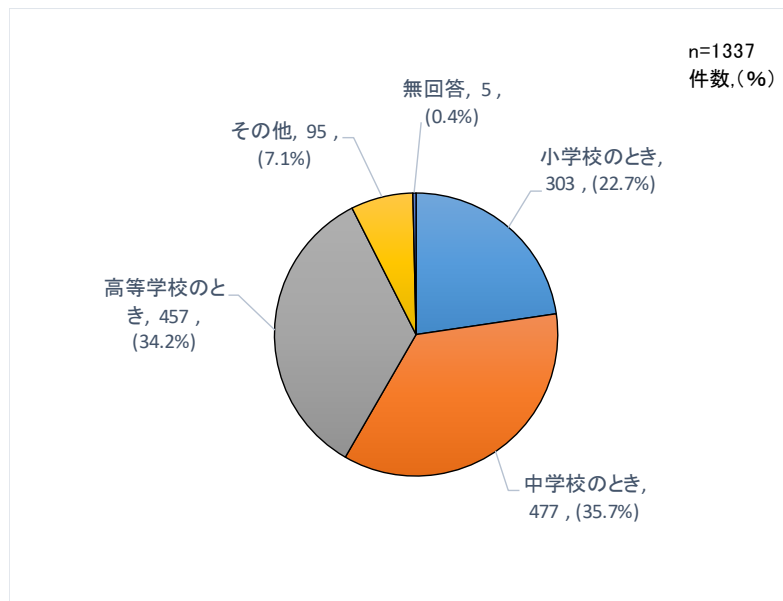
回答者を学科別にみると、「保育系」が75.0%と最も多く、次いで「相談・援助系」が13.8%、「介護系」が10.4%であった。

【その他】

福祉心理学科 (5件)

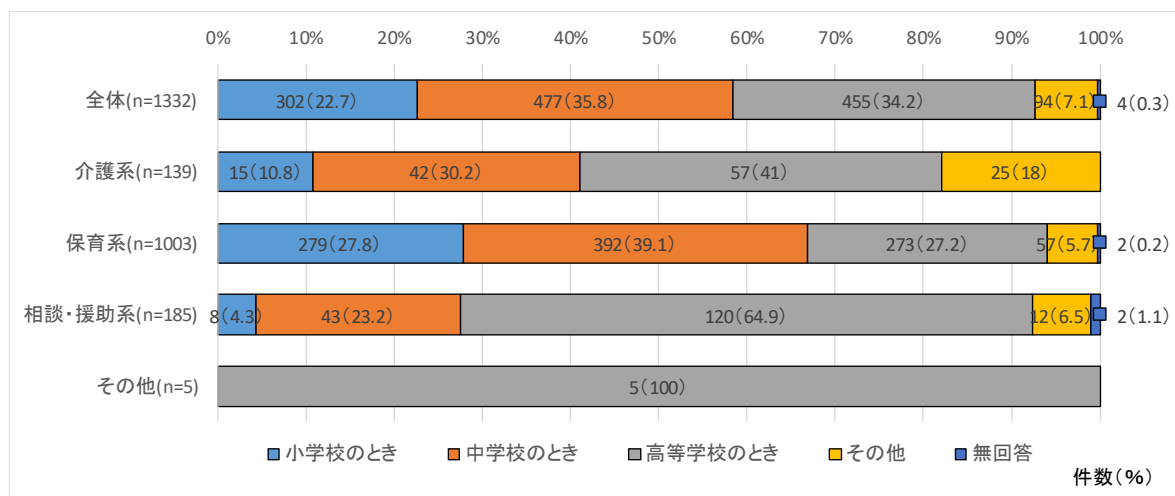
問4 福祉に興味を持った時期（〇は1つ）

図表 4-1 単純集計



回答者が福祉の仕事に興味を持った時期は「中学校のとき」が35.7%と最も多く、次いで「高等学校のとき」が34.2%、「小学校のとき」が22.7%であった。

図表 4-2 学科別クロス集計



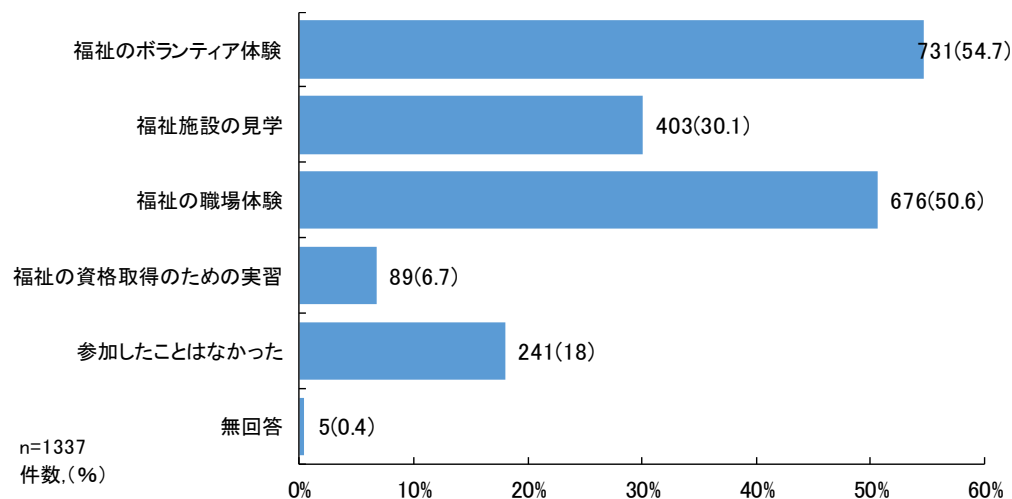
学科別でみると、介護系、相談・援助系では「高等学校のとき」が最も多いが、保育系では「中学校のとき」(39.1%)、「小学校のとき」(27.8%)が多い。介護系では18.0%が「その他」と回答した。

【その他（主なもの）】

- ・ 保育園、幼稚園 (37 件)
- ・ 社会人になってから (10 件)
- ・ 震災をきっかけに (3 件)
- ・ 短大、大学 (19 件)
- ・ 成人してから (7 件)
- ・ 不明 (覚えていない) (3 件)

問5 福祉に関するイベントに参加した内容（○は複数）

図表 5-1 単純集計



回答者が入学前に福祉に関するイベントで参加したことがあるものでは、「福祉のボランティア体験」が54.7%と最も多く、次いで「福祉の職場体験」が50.6%、「福祉施設の見学」が30.1%であった。

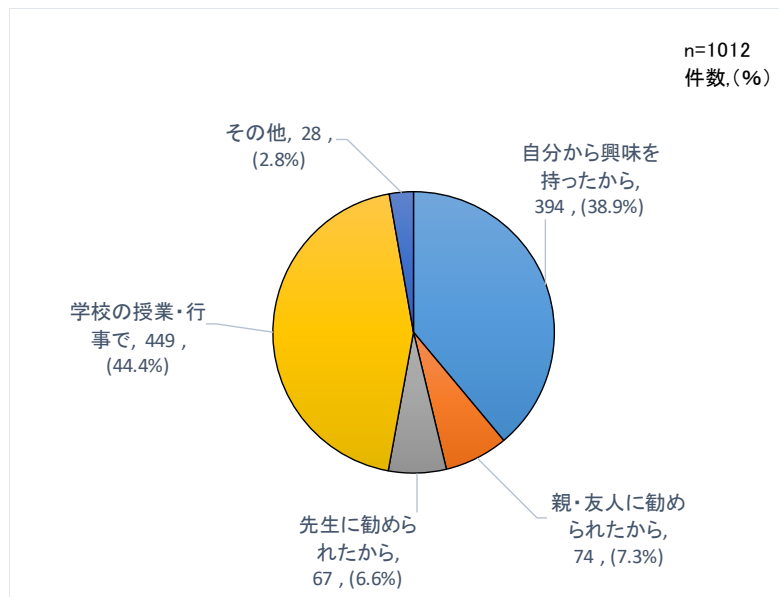
図表 5-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	福祉のボラン ティア体験	福祉施設の 見学	福祉の 職場体験	福祉の資格取 得のための 実習	参加したことは なかった	無回答
全体	1332 100.0	729 54.7	401 30.1	673 50.5	88 6.6	240 18.0	4 0.3
介護系	139 100.0	85 61.2	51 36.7	55 39.6	16 11.5	22 15.8	1 0.7
保育系	1003 100.0	557 55.5	283 28.2	571 56.9	61 6.1	149 14.9	3 0.3
相談・援助系	185 100.0	85 45.9	67 36.2	46 24.9	11 5.9	67 36.2	-
その他	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	-	2 40.0	-

学科別でみると、「福祉のボランティア体験」がすべての学科で多いが、保育系では「福祉の職場体験」(56.9%)が最も多く、他の学科と比較して高い割合だった。

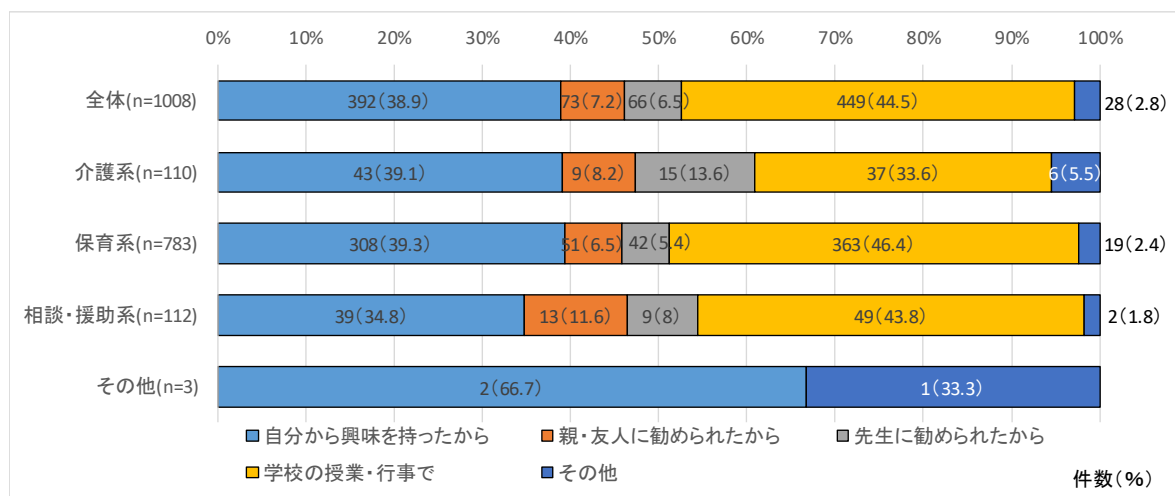
問6 (問5であると答えた方) 福祉に関するイベントに参加した理由 (〇は1つ)

図表 6-1 単純集計



福祉に関するイベントに参加したことがある学生が、参加した理由では「学校の授業・行事で」が44.4%と最も多く、次いで「自分から興味を持ったから」が38.9%と多かった。

図表 6-2 学科別クロス集計



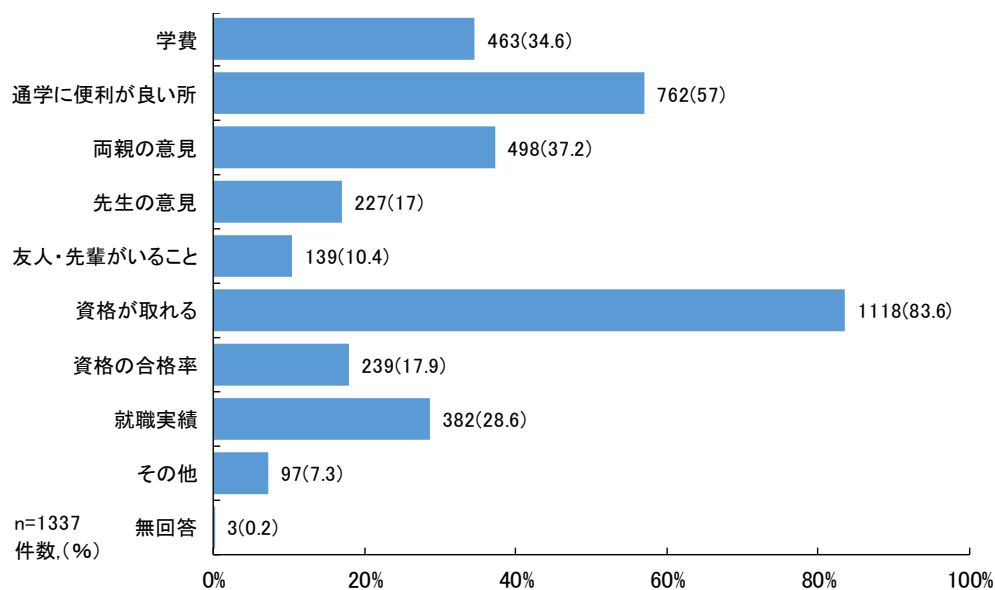
学科別で見ると、すべての学科で「学校の授業・行事で」と「自分から興味を持ったから」が多かった。

【その他 (主なもの)】

- ・部活動 (ボランティア含む) (13件)
- ・親族の職場など (6件)

問7 現在の学校を選ぶうえで優先したこと（〇は複数）

図表 7-1 単純集計



現在の学校を選ぶうえで優先したことは「資格が取れる」が83.6%と最も多く、次いで「通学に便利が良い所」が57.0%、「両親の意見」が37.2%、「学費」が34.6%であった。

図表 7-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	学費	通学に便利が 良い所	両親の意見	先生の意見	友人・先輩が いること	資格が取れる	資格の 合格率	就職実績	その他	無回答
全体	1332 100.0	462 34.7	760 57.1	496 37.2	226 17.0	139 10.4	1115 83.7	239 17.9	380 28.5	96 7.2	2 0.2
介護系	139 100.0	76 54.7	76 54.7	38 27.3	10 7.2	12 8.6	104 74.8	46 33.1	36 25.9	11 7.9	-
保育系	1003 100.0	332 33.1	544 54.2	396 39.5	180 17.9	116 11.6	857 85.4	156 15.6	304 30.3	65 6.5	2 0.2
相談・援助系	185 100.0	54 29.2	137 74.1	60 32.4	35 18.9	11 5.9	149 80.5	36 19.5	37 20.0	20 10.8	-
その他	5 100.0	-	3 60.0	2 40.0	1 20.0	-	5 100.0	1 20.0	3 60.0	-	-

学科別でみると、すべての学科で「資格が取れる」が多かった。

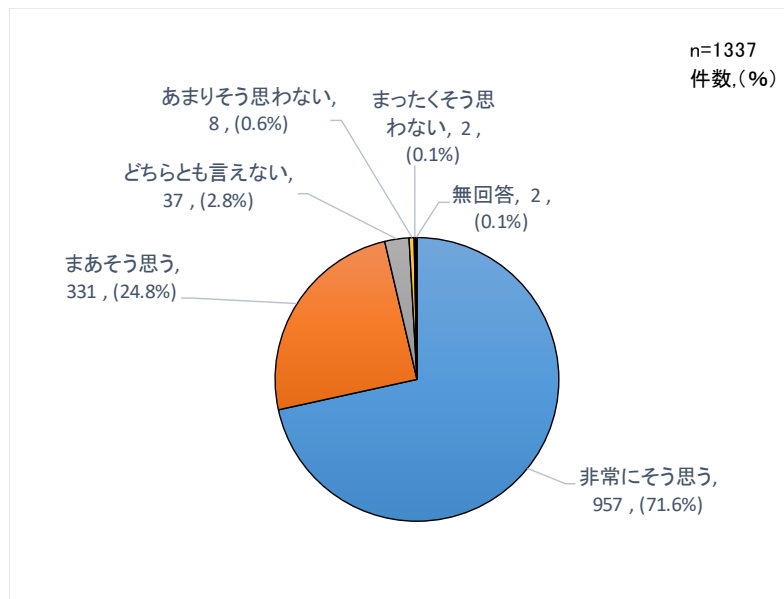
【その他（主なもの）】

- ・学びたい授業内容（17件）
- ・学校の雰囲気、評判（21件）
- ・自宅からの距離（5件）
- ・設備、制度が充実している（10件）
- ・福島県内にある（4件）
- ・学校、家族の勧め（9件）
- ・自分の学力（11件）

問8 福祉の仕事に関するイメージ (〇は1つ)

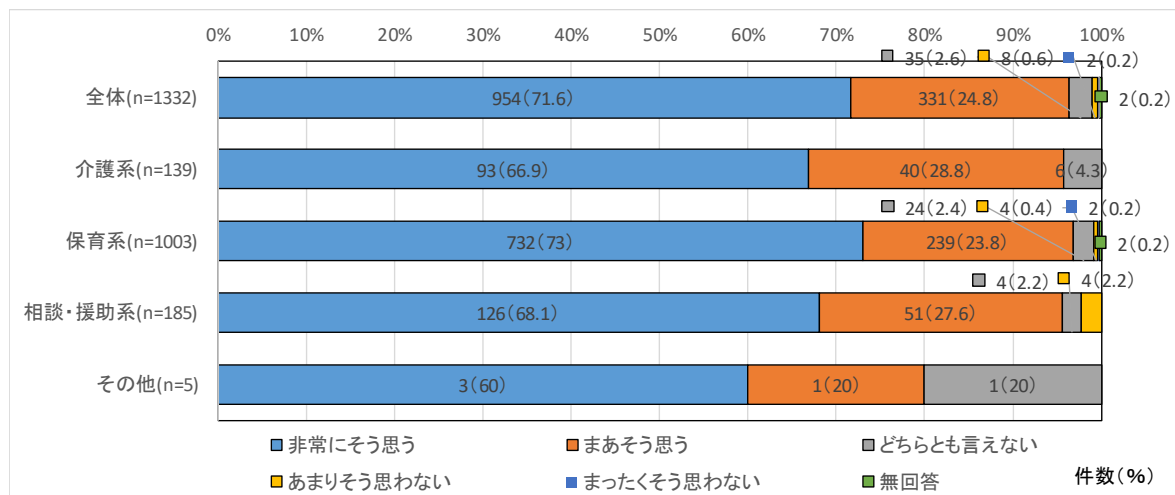
(1) 社会的意義

図表8- (1) -1 単純集計



福祉の仕事に関するイメージで、社会的意義が大きいかについては、「非常にそう思う」の割合が71.6%と最も高く、「まあそう思う」(24.8%)と合わせると、96.4%が「社会的意義が大きい」と回答している。

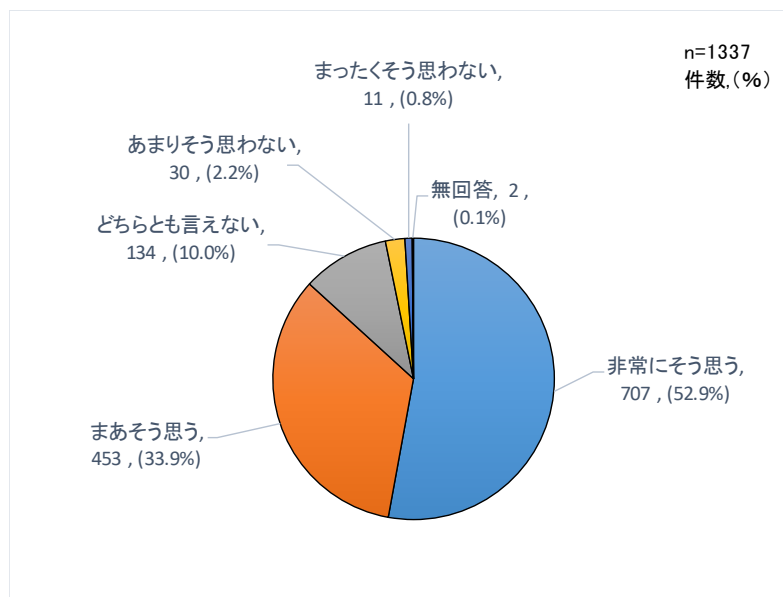
図表8- (1) -2 学科別クロス集計



学科別でみると、全ての学科で「非常にそう思う」の割合が最も高く、「まあそう思う」と合わせた割合が95%以上となっている。

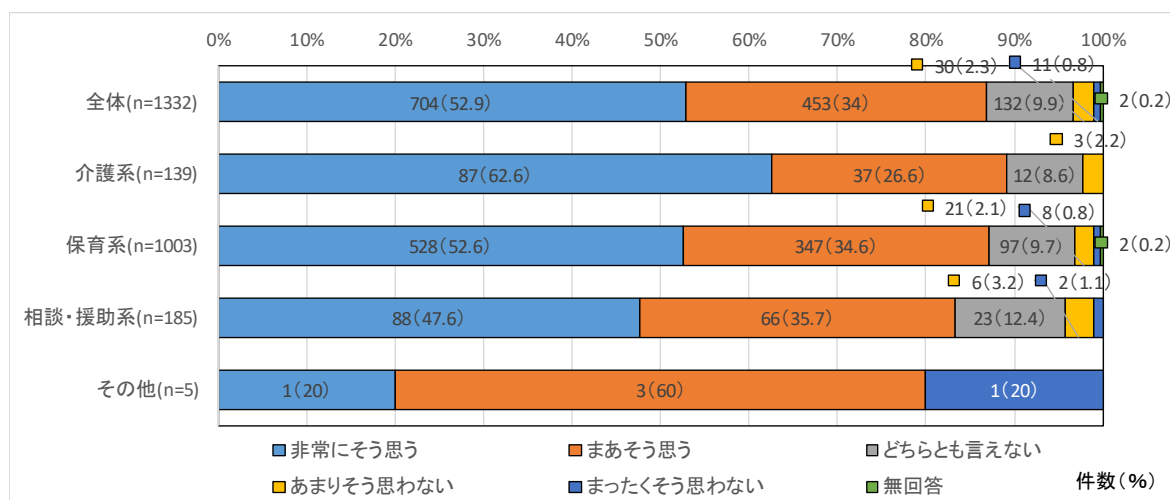
(2) 将来性

図表 8- (2) -1 単純集計



将来性があるかについては、「非常にそう思う」の割合が52.9%と最も高く、「まあそう思う」(33.9%)と合わせると、86.8%が「将来性がある」と回答している。

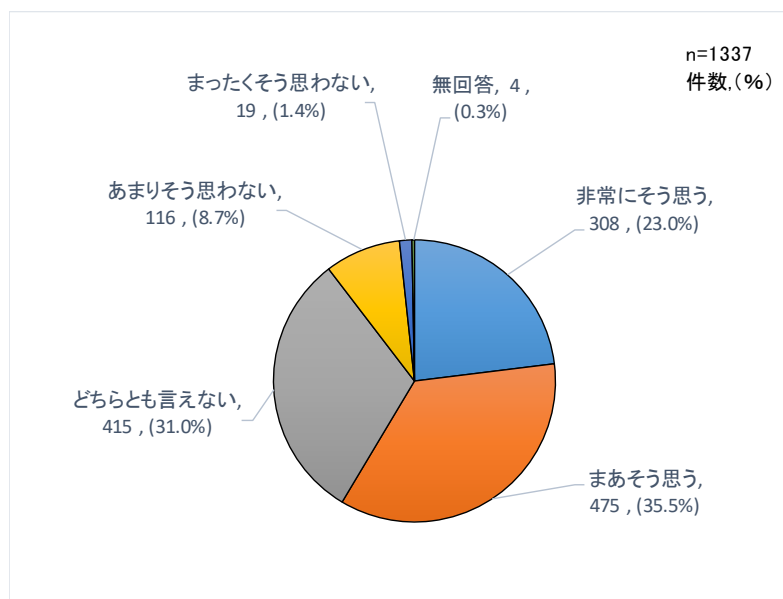
図表 8- (2) -2 学科別クロス集計



学科別でみると、すべての学科で「非常にそう思う」の割合が最も高く、「まあそう思う」と合わせた割合が8割以上となっている。

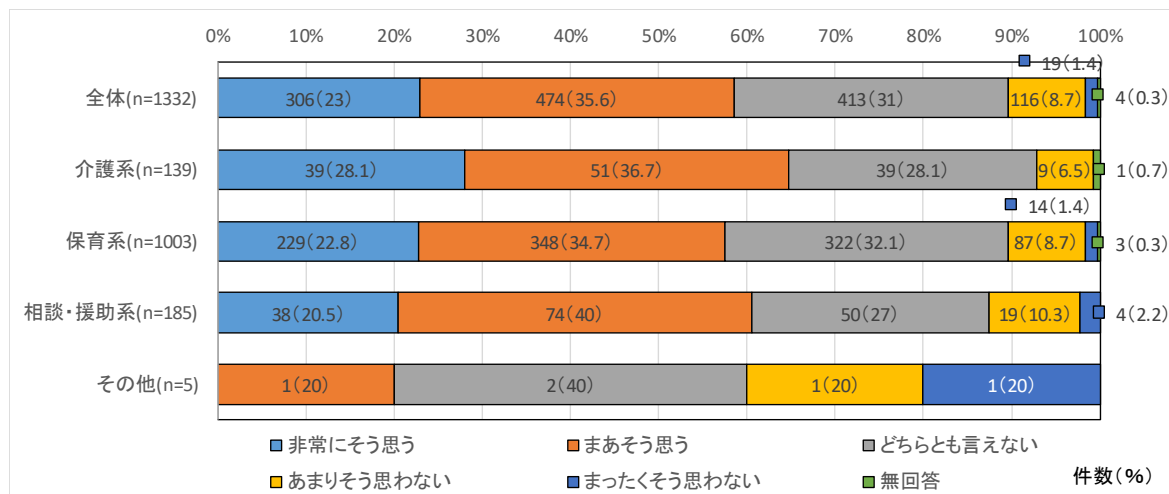
(3) 長く働ける

図表 8- (3) -1 単純集計



長く働けるかについては、「まあそう思う」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」が 31.0%であった。「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせると、58.5%が「長く働ける」と回答している。

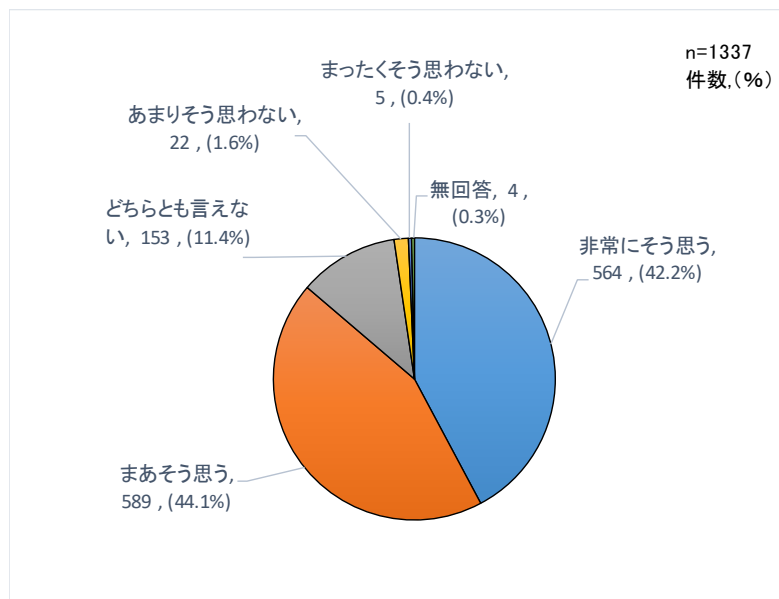
図表 8- (3) -2 学科別クロス集計



学科別でみると、すべての学科で「まあそう思う」の割合が最も高く、次いで「どちらとも言えない」であった。「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせると、すべての学科で 6 割前後の学生が「長く働ける」と回答している。

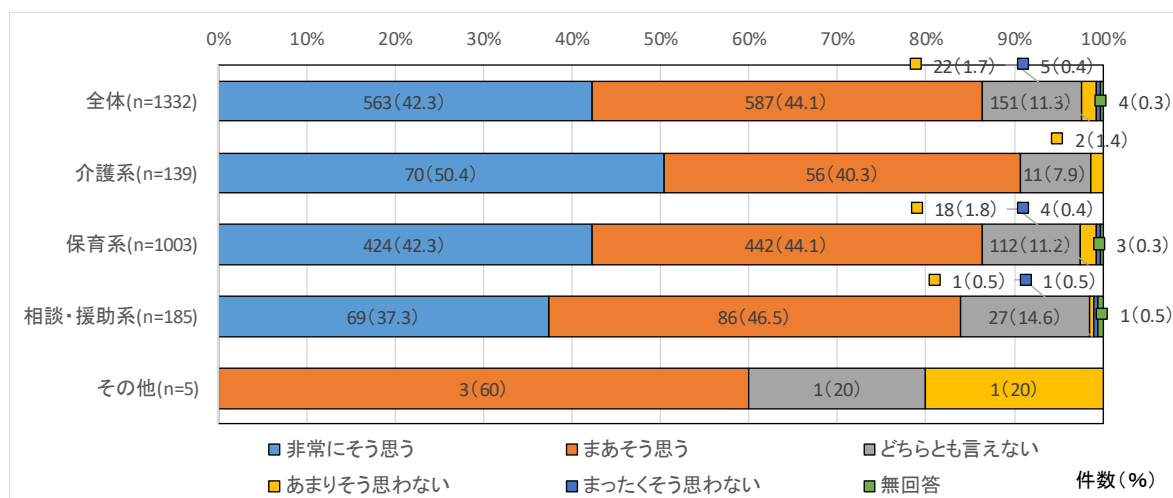
(4) スキルアップ

図表 8- (4) -1 単純集計



スキルアップしていけるかについては、「まあそう思う」の割合が 44.1%と最も高く、「非常にそう思う」(42.2%) と合わせると、86.3%が「スキルアップしていける」と回答している。

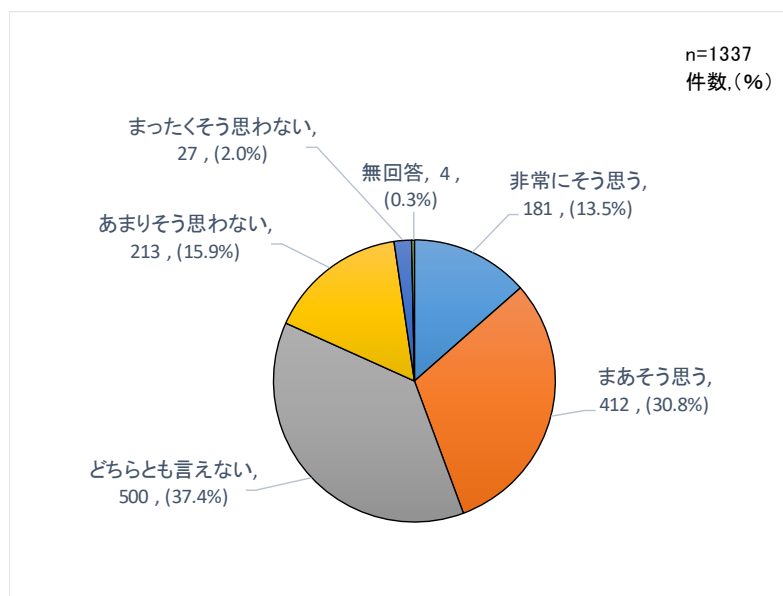
図表 8- (4) -2 学科別クロス集計



学科別でみると、介護系では「非常にそう思う」の割合が最も高く、保育系、相談・援助系では「まあそう思う」の割合が最も高いが、全ての学科「非常にそう思う」「まあそう思う」と合わせた割合が8割以上となっている。

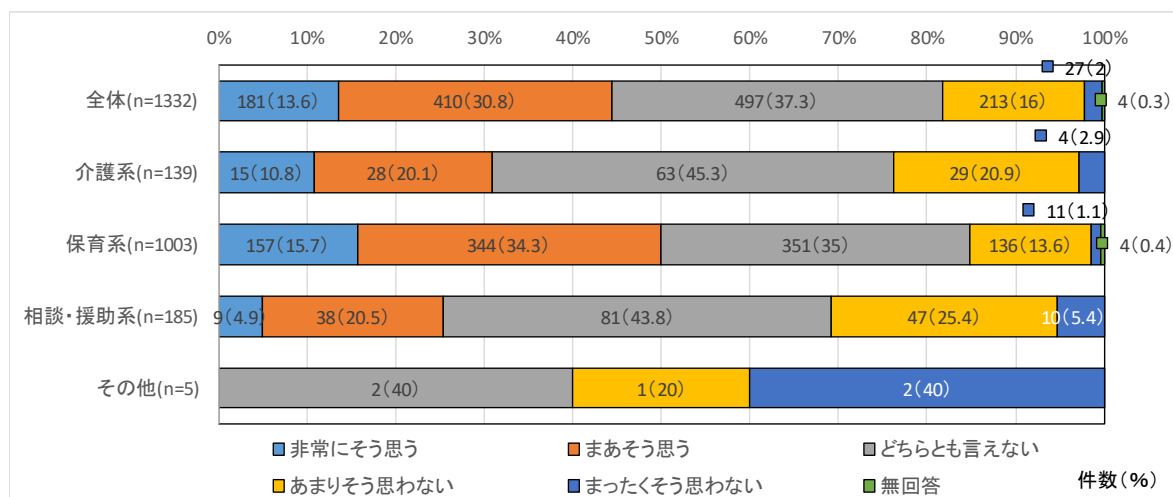
(5) 知名度や評判

図表 8- (5) -1 単純集計



知名度や評判が高いかについては、「どちらとも言えない」の割合が37.4%と最も高く、次いで「まあそう思う」(30.8%)であった。「非常にそう思う」(13.5%)「まあそう思う」を合わせると、「知名度や評判が高い」と回答した割合は44.3%であった。

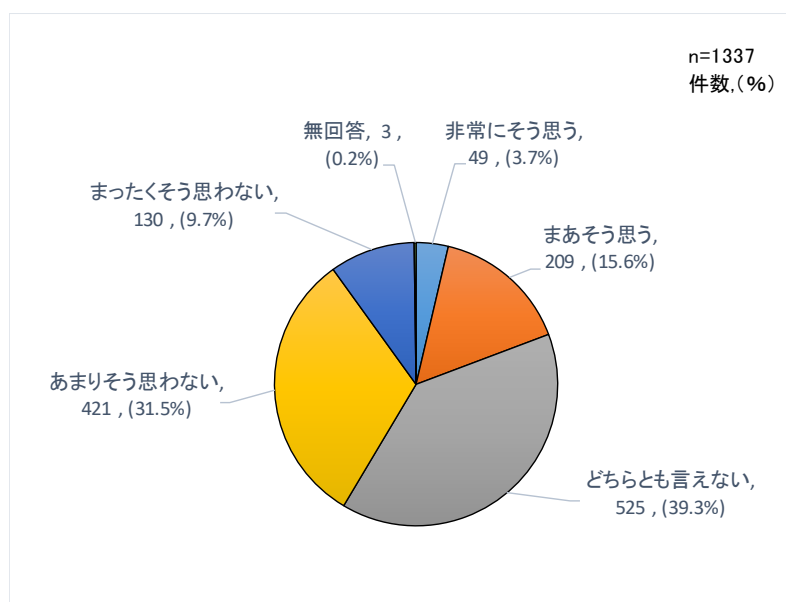
図表 8- (5) -2 学科別クロス集計



すべての学科で「どちらとも言えない」の割合が最も高く、次いで保育系では「まあそう思う」であるが、介護系、相談・援助系では「あまりそう思わない」であった。保育系では「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が50.0%であったが、介護系、相談・援助系では3割程度である。

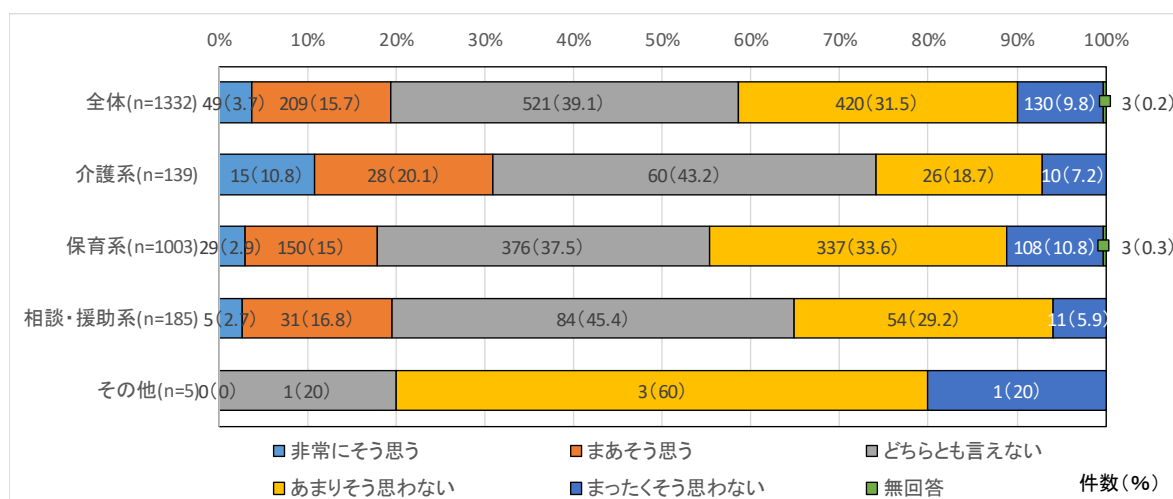
(6) 収入が安定

図表 8- (6) -1 単純集計



収入が安定しているかについては、「どちらとも言えない」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」(31.5%)であった。「非常にそう思う」(3.7%)「まあそう思う」(15.6%)を合わせた割合は 19.3%で、「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」(9.7%)を合わせた割合は 41.2%であった。

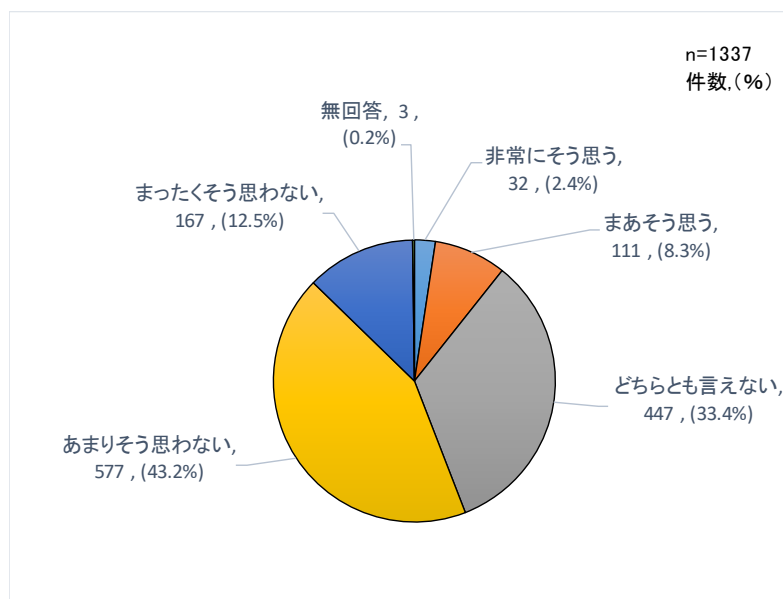
図表 8- (6) -2 単純集計



すべての学科で「どちらとも言えない」の割合が最も高く、次いで介護系では「まあそう思う」であるが、保育系、相談・援助系では「あまりそう思わない」であった。介護系では「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせた割合が「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合を上回っているが、保育系、相談・援助系では「思わないが」が大きく上回っている。

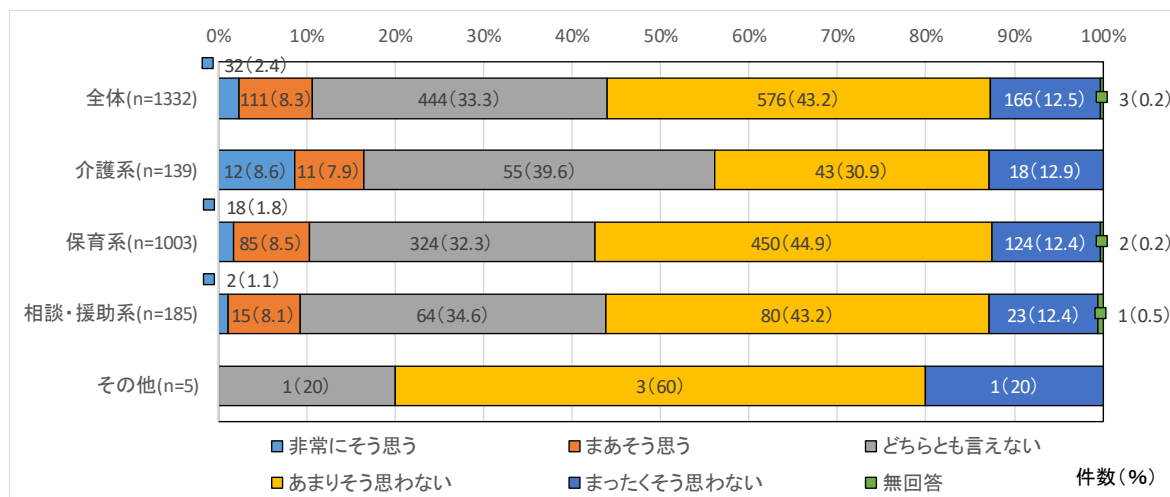
(7) 休日が取りやすい

図表 8- (7) -1 単純集計



休日を取りやすいかについては、「あまりそう思わない」の割合が43.2%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」(33.4%)であった。「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」(12.5%)を合わせた割合は55.7%と半数以上で、「非常にそう思う」(2.4%)「まあそう思う」(8.3%)を合わせた割合(10.7%)を大きく上回った。

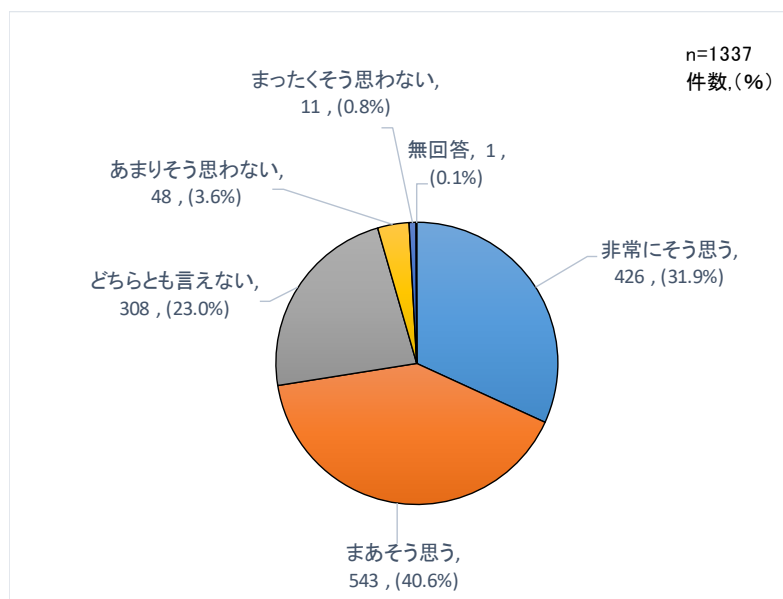
図表 8- (7) -2 学科別クロス集計



介護系では「どちらとも言えない」の割合が最も高かったが、保育系、相談・援助系では「あまりそう思わない」の割合が最も高かった。保育系、相談・援助系では「あまりそう思わない」「まったくそう思わない」を合わせた割合が半数を超え、すべての学科で、「思わない」が「思う」を大きく上回った。

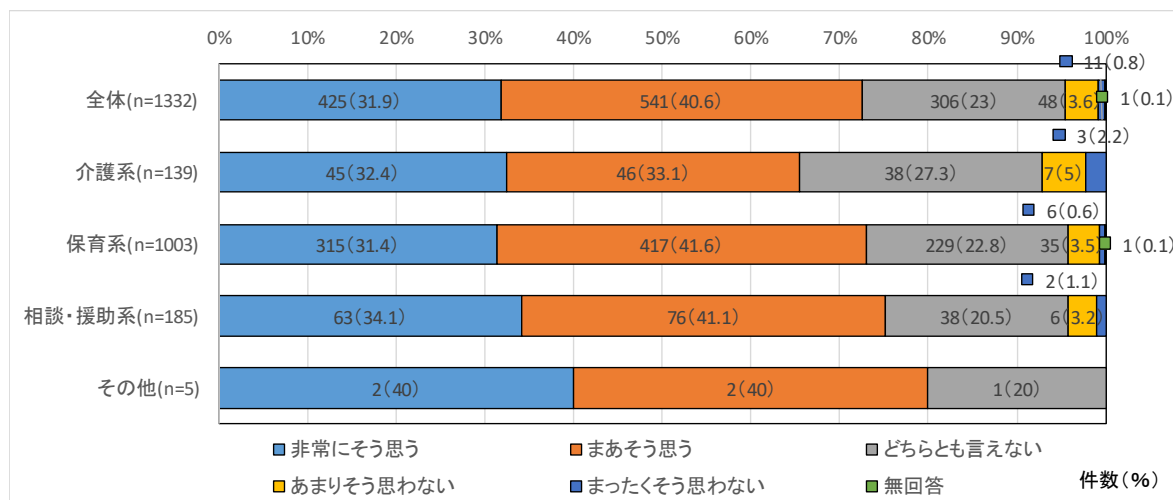
(8) 向き不向き

図表 8- (8) -1 単純集計



向き不向きがはっきり分かれるかについては、「まあそう思う」の割合が 40.6%と最も高く、「非常にそう思う」(31.9%) と合わせると、72.5%が「向き不向きがはっきり分かれる」と回答している。

図表 8- (8) -2 学科別クロス集計

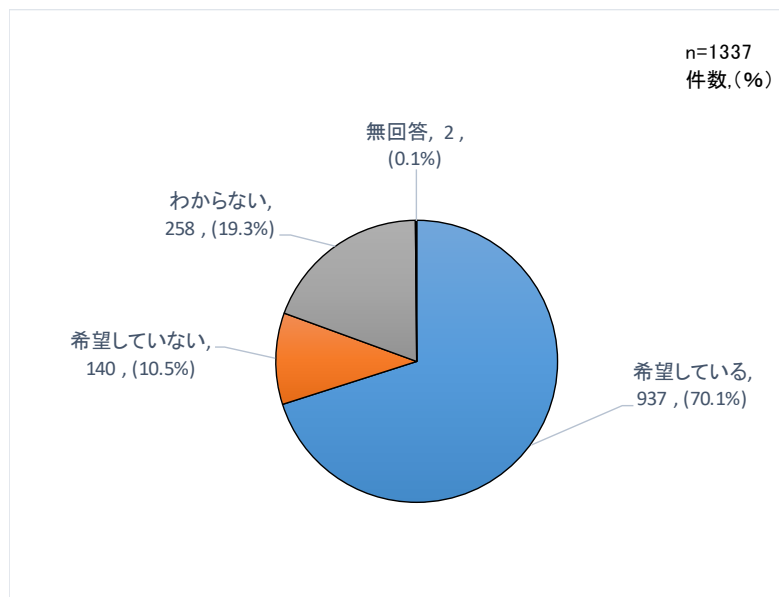


学科別でみると、すべての学科で「まあそう思う」の割合が最も高く、次いで「非常にそう思う」であった。「非常にそう思う」「まあそう思う」を合わせると、すべての学科で 7 割前後の学生が「向き不向きがはっきり分かれる」と回答している。

問9 卒業後の進路（〇は1つ）

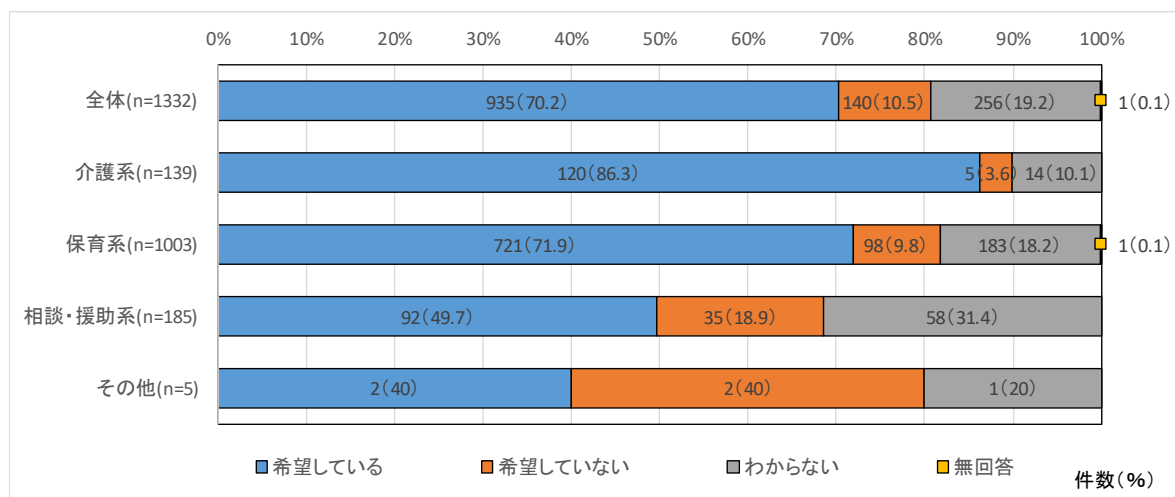
（1）福祉の職場への就職

図表9-（1）-1 単純集計



卒業後、福祉の職場への就職を「希望している」割合は70.1%で、「希望していない」（10.5%）を大きく上回ったが、「わからない」と回答した割合が19.3%あった。

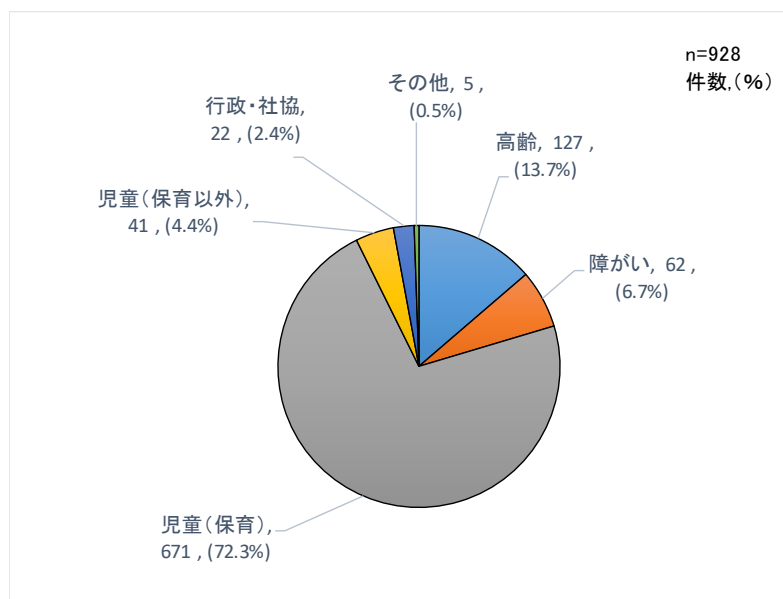
図表9-（1）-2 学科別クロス集計



学科別に見ると、すべての学科で「希望している」割合が最も高いが、介護系が8割、保育系が7割を超えているのに対し、相談・援助系は半数を下回っている。「希望していない」割合も約2割と、他の学科と比較して高い。

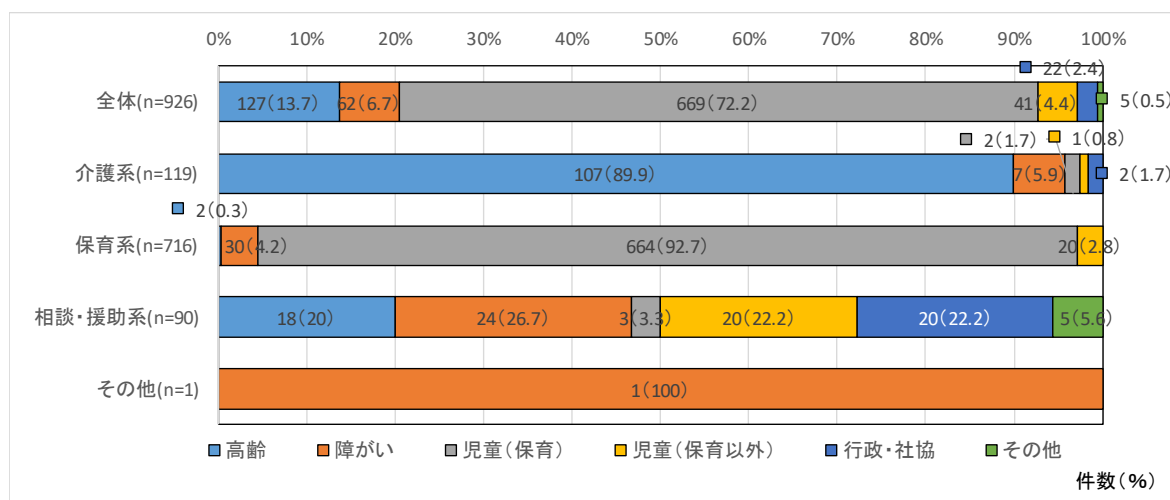
(2) 希望する分野

図表 9- (2) -1 単純集計



希望する分野では、「児童（保育）」が72.3%、「高齡」が13.7%、「障がい」が6.7%などとなっている。

図表 9- (2) -2 学科別クロス集計



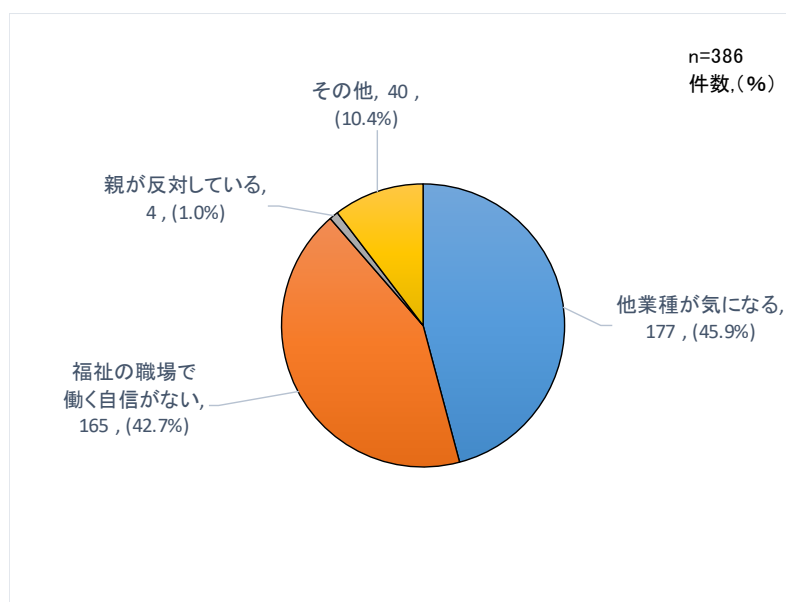
学科別に見ると、介護系の約9割が「高齡」、保育系の9割以上が「児童（保育）」を希望しているが、相談・援助系は「高齡」「障がい」「児童（保育以外）」「行政・社協」に同程度に分散している。

【その他】

- ・医療系（3件）
- ・病院（2件）

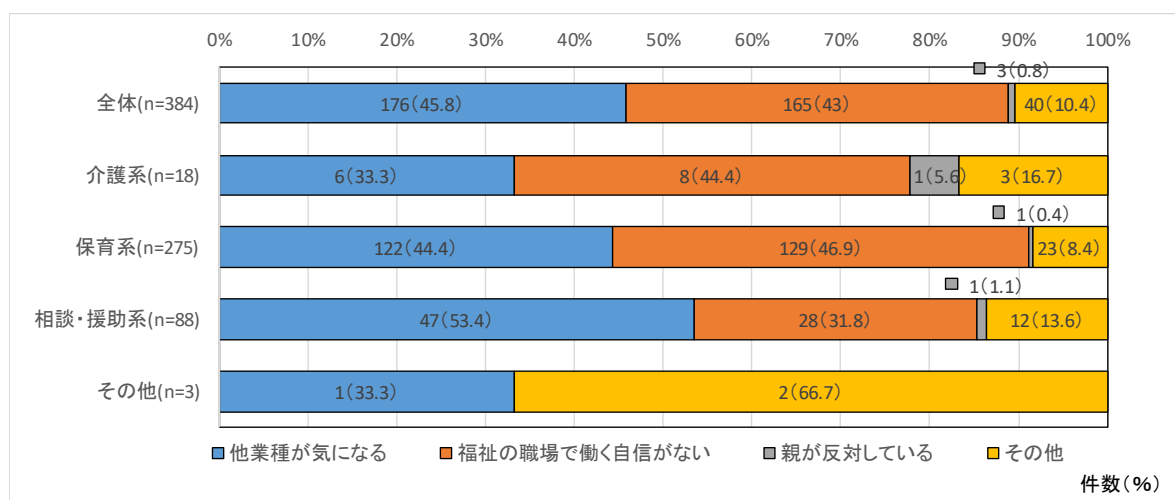
(3) 希望しない・わからない理由

図表 9- (3) -1 単純集計



福祉の職場への就職を希望しない、または、わからないと回答した理由では、「他業種が気になる」が 45.9%と最も多かったが、「福祉の職場で働く自信がない」も 42.7%と多かった。

図表 9- (3) -2 学科別クロス集計



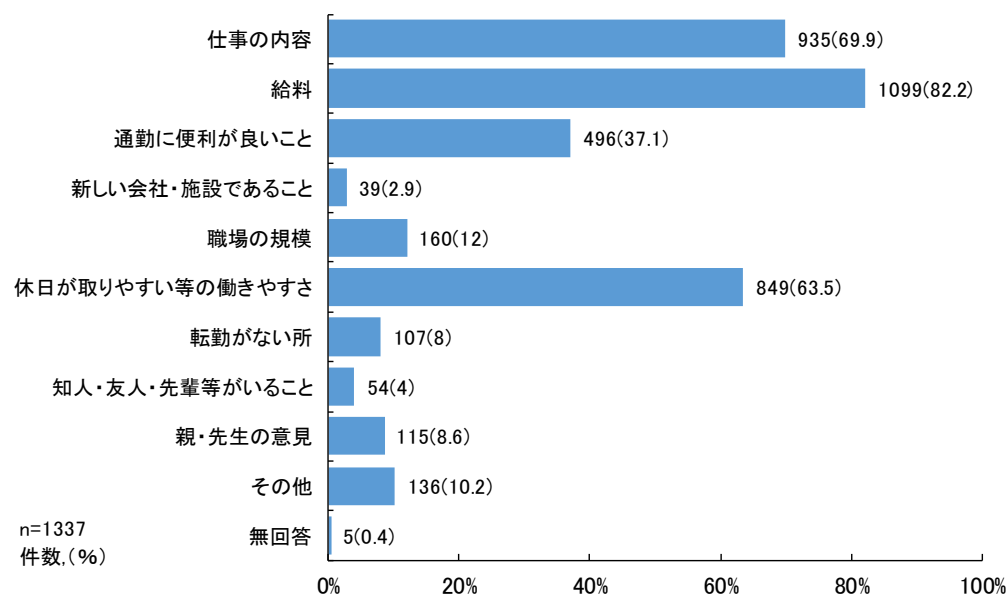
相談・援助系は「他業種が気になる」が半数以上と多かったが、介護系、保育系では「福祉の職場で働く自信がない」が最も多かった。

【その他 (主なもの)】

- ・ 幼稚園を希望 (3 件)
- ・ 公務員を希望 (1 件)
- ・ 他業種への就職 (一般・家業) (7 件)
- ・ 進学 (4 件)
- ・ 給料が低い、待遇が悪い (7 件)
- ・ 明確でない (不安・迷っている) (10 件)

問 10 就職先を決めるにあたり重視すること（○は複数）

図表 10-1 単純集計



就職先を決めるにあたり重視することは「給料」が82.2%と最も多く、次いで「仕事の内容」が69.9%、「休日を取りやすい等の働きやすさ」が63.5%であった。

図表 10-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	仕事の内容	給料	通勤に便利が 良いこと	新しい会社・ 施設で あること	職場の規模	休日を取りや すい等の 働きやすさ	転動がない所	知人・友人・ 先輩等が いること	親・ 先生の意見	その他	無回答
全体	1332 100.0	932 70.0	1096 82.3	495 37.2	39 2.9	159 11.9	847 63.6	107 8.0	53 4.0	115 8.6	135 10.1	4 0.3
介護系	139 100.0	86 61.9	89 64.0	66 47.5	6 4.3	30 21.6	69 49.6	22 15.8	13 9.4	13 9.4	16 11.5	2 1.4
保育系	1003 100.0	686 68.4	850 84.7	358 35.7	26 2.6	109 10.9	667 66.5	62 6.2	37 3.7	94 9.4	107 10.7	2 0.2
相談・援助系	185 100.0	155 83.8	153 82.7	69 37.3	7 3.8	20 10.8	109 58.9	22 11.9	3 1.6	8 4.3	11 5.9	-
その他	5 100.0	5 100.0	4 80.0	2 40.0	-	-	2 40.0	1 20.0	-	-	1 20.0	-

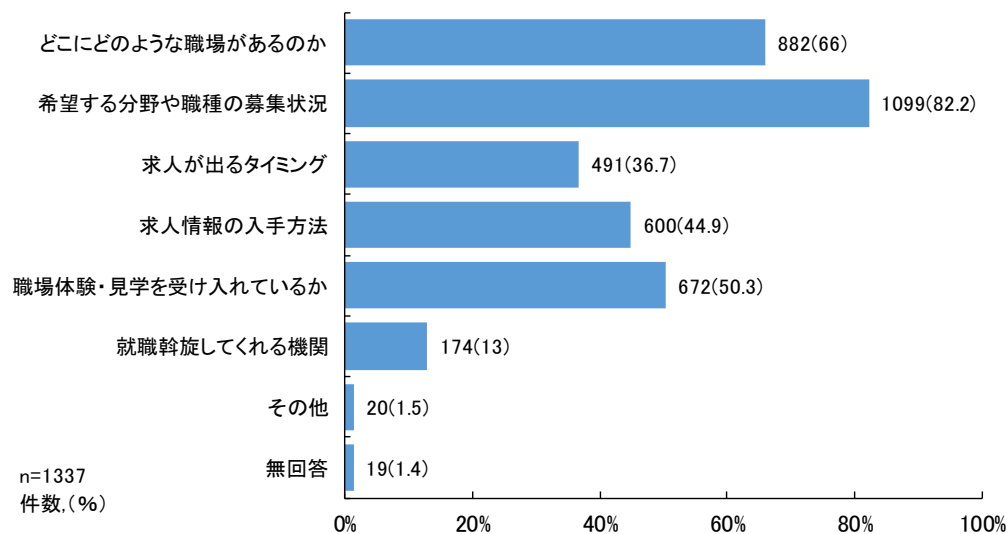
学科別に見ると、介護系・保育系では「給料」が最も多く、相談・援助系は「仕事の内容」が最も多かった。

【その他（主なもの）】

- ・人間関係（36件）
- ・職場の雰囲気（51件）
- ・法人理念、方針（9件）
- ・福利厚生（5件）
- ・出身園（3件）
- ・キャリアアップ、スキルアップができる（2件）
- ・やりがい（9件）

問 11 就職活動に必要な情報（○は複数）

図表 11-1 単純集計



就職活動に必要な情報は「希望する分野や職種の募集状況」が82.2%と最も多く、次いで「どこにどのような職場があるのか」が66.0%、「職場体験・見学を受け入れているか」が50.3%であった。

図表 11-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	どこにどのような 職場があるの か	希望する分野 や職種の 募集状況	求人が出る タイミング	求人情報の 入手方法	職場体験・ 見学を受け入 れているか	就職斡旋して くれる機関	その他	無回答
全体	1332 100.0	879 66.0	1095 82.2	491 36.9	599 45.0	669 50.2	174 13.1	19 1.4	18 1.4
介護系	139 100.0	98 70.5	110 79.1	46 33.1	52 37.4	63 45.3	25 18.0	5 3.6	4 2.9
保育系	1003 100.0	661 65.9	822 82.0	384 38.3	460 45.9	516 51.4	107 10.7	12 1.2	13 1.3
相談・援助系	185 100.0	118 63.8	159 85.9	58 31.4	84 45.4	88 47.6	41 22.2	2 1.1	1 0.5
その他	5 100.0	2 40.0	4 80.0	3 60.0	3 60.0	2 40.0	1 20.0	-	-

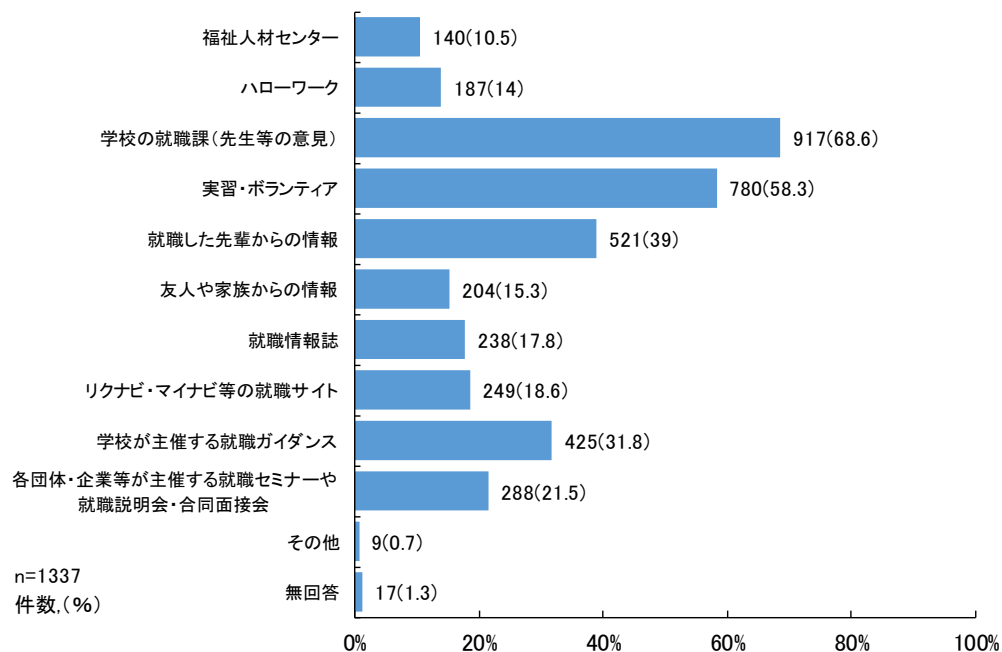
すべての学科で「希望する分野や職種の募集状況」が最も多かった。

【その他（主なもの）】

- ・ 離職率（1件）
- ・ 給料（3件）
- ・ 仕事内容（2件）

問 12 就職活動の際に活用していきたいもの（〇は複数）

図表 12-1 単純集計



就職活動の際に活用していきたいものは「学校の就職課（先生等の意見）」が68.6%と最も多く、次いで「実習・ボランティア」が58.3%、「就職した先輩からの情報」（39.0%）、「学校が主催する就職ガイダンス」（31.8%）であった。

図表 12-2 学科別クロス集計

上段:度数 下段:%	合計	福祉人材センター	ハローワーク	学校の就職課 (先生等の意見)	実習・ ボランティア	就職した先輩 からの情報	友人や家族 からの情報	就職情報誌	リクナビ・マイ ナビ等の 就職サイト	学校が主催す る就職ガイダ ンス	各団体・企業 等が主催する 就職セミナーや 就職説明会・ 合同面接会	その他	無回答
全体	1332 100.0	140 10.5	184 13.8	914 68.6	777 58.3	520 39.0	204 15.3	237 17.8	249 18.7	424 31.8	288 21.6	9 0.7	16 1.2
介護系	139 100.0	39 28.1	34 24.5	91 65.5	78 56.1	39 28.1	14 10.1	21 15.1	19 13.7	33 23.7	33 23.7	2 1.4	2 1.4
保育系	1003 100.0	55 5.5	108 10.8	698 69.6	627 62.5	440 43.9	172 17.1	182 18.1	180 17.9	320 31.9	190 18.9	6 0.6	13 1.3
相談・援助系	185 100.0	46 24.9	42 22.7	122 65.9	69 37.3	41 22.2	18 9.7	33 17.8	48 25.9	68 36.8	62 33.5	1 0.5	1 0.5
その他	5 100.0	-	-	3 60.0	3 60.0	-	-	1 20.0	2 40.0	3 60.0	3 60.0	-	-

すべての学科で「学校の就職課（先生等の意見）」が最も多かった。

【その他（主なもの）】

- ・施設見学（1件）
- ・各団体、企業の主催するインターン（1件）

問 13 就職するにあたって不安に思うこと（自由記述）

（主なもの）

- 就職した後、職場の人たちとの人間関係や自分がきちんと働き続けていける自信がなく、心配になり不安である。
- 就職後、しっかり仕事内容を覚え、技術的にステップアップ、仕事についていけるか不安に思います。また、人間関係をうまく築いていけるのか心配しています。
- 人間関係がうまくいくのかということや、もし保育職に就くとしたら子供たちを引っ張っていけるのかという不安はあります。また、責任を持って仕事をしたり、円滑に何事もできるかです。
- 就職先の人間関係は良いか悪いか。求人情報だけじゃ分からない。就職してから分かるようなことが不安。給料がいくら良くても雰囲気が悪い職場には就きたくないので、どうやったら見分けることができるのか…。
- 人間関係は悪くないのか。いじめ、パワハラ、セクハラなどはないのか。チームワークはしっかりできるのか。
- 職場の人とコミュニケーションがうまくいくか。仕事内容を覚えて働くことができるか。園で就職しクラスを持ったときに、保護者とコミュニケーションが取れるか。
- 給料、一人暮らしをするときにやっていけるか。奨学金を返しながら自分の生活費が出せるか。
- 保育士の待遇が良くないといわれていること。奨学金を返す…ということを見ると、家賃など生きていくだけで限界な手取りしかなく、自立した生活が困難なのは、と考えている。
- 給料は安定しているか、休日を取れるところか等。「就活」は何をすれば良いか（何の対策をすれば良いか）。具体的に分からないので不安。
- 自分が本当にこの仕事に向いているのか分からない。保育士の給料が安いのできちんと暮らしていけるのか。給料と仕事量が見合っていないとよく聞いていて、辞める先輩もとてもよくいるのでとても不安。
- 本当にもらえるお給料はいくらなのか。仕事内容。職場の人間関係。有休・育休・産休等の手当とそれに対しての職場の雰囲気。
- 自分になりたいから保育関係の仕事に就きたいと思っているけれど「収入面」が低いのがとても不安。仕事量に応じた給料や、休日の取り方がないと、働く意欲もなくなりそうな気がして今からとても悩んでいます。自分がいいなと思う就職先が見つかるのか不安。合わなくて辞めてしまう、大変で辞めてしまうという話をよく聞くから。
- 職場内でのいじめがないかどうか。給料・ボーナス、年金、休み等の福利厚生。勤務時間。
- 安定した収入がもらえなさそうなこと。休みを取りにくそうなところ。妊娠・出産・育児と仕事が両立できなさそうなこと。
- 働いたときの職場の雰囲気（実習や見学のときとは違うかも）。有休などをきちんと取得できるか、残業の有無など。職員同士の仲。

- ストレスなどがたまって不健康になってしまわないか。知識及び技術をしっかり活かせるか。
- 身体が小さいので移乗介助がちゃんとできるか心配。健康面での不安。なかなか連休が取りづらい。
- 人との付き合いがうまくやっていけるかどうか。給料面で続けていけるかどうか。仕事内容が多すぎて身体を壊さないか。

- 一般企業より就職試験の日程が遅いこと。
- 自分が希望する就職先に就職できるかどうか心配であり、不安です。
- 良い就職先を見つけられるか。面接・履歴書の書き方で失敗しないか。言葉遣いが合っているか。
- 就職したいなと思った職場が居心地が良くなかったり、合っていなかったらどうしようという不安があります。また、面接できちんとした受け答えができるか不安です。
- 自分の希望通りの職場に就職できるのか。就職までの流れを理解できていないため、手順が分からない。働きたい職場が決まっていない。
- 自分が保育者に向いているのか。就職先がたくさんあるため、どこが自分に合うか分からない。また、本当に良いところはどこなのか分からない。
- 福祉関係に就職したいとは考えているが、どこに就職するとか、どんな仕事をしたいかなど詳しい部分まで決まっていないこと。何をすればいいか分からない。

- 自分はこの仕事が務まるか。責任を持って仕事ができるのか。自分に合った職場を見つけることができるのか。
- 仕事にやりがいを感じ、自分なりの長所をうまく活かすことができるかということ。また、勤め先の職場環境や雰囲気がとても不安です。
- 仕事をしたい（してみたい）分野はあるものの、具体的な内容等が自分でも決まっていない、何があるのか調べるが不十分なので、どうしたらいいか分からない。
- 希望する仕事が明確に決まっていない。学んだことを活かせる仕事に何があるか分からない（保育士、幼稚園以外）。何を対策として準備すべきか分からない。
- 給金の低さ。「やりがい」を給料に含めず、やりがいがあるから低くても仕方のないことだと考えている社会が不安である。現実的ではないと思う。生活することがまず第一であるので、福祉の仕事はやりがいではなく、現実を見てほしいと思う。

- 採用してもらえるのか。その職場で続けられるのか。自分にその職場が合うのか。職場の雰囲気などを知りたい。
- 良い職場環境、雰囲気があるか。楽しいと思えるかどうか（働きやすいか）。安定しているか。
- 自分はその職場になじめるか。不規則勤務を行うと、一週間は大体どのような日程になるのか。

- たくさんの職場がある中で、どのように探していけばいいのか。また、職場の雰囲気が自分に合うか不安。
- 自分がどのような施設が行きたいのかが全く決まっていないこと。自分に合った職場を選ぶ

ことができるのかが不安。

- 何年も続けていける自信がない。周りの先輩や友人がパワハラを受けているのを聞いて、自分
がその立場になったら耐えられるのか不安。
- 施設によって新しい技術、考えがそれぞれ違うので、自分が選ぶ施設がどのような支援を行っ
ているのか実際に見ることができないことが不安です。

問 14 中高生に、福祉業界・福祉の職場で働きたい！と思ってもらうための PR・啓発活動への意見（自由記述）

（主なもの）

- 給料を上げ、生活を安定させる。休みを取りやすいなど PR する。
- 今の給料を上げる。良いイメージを伝えるのではなく、今の業界の仕事内容であったり、現状を包み隠さず伝えていけばよいと思った。
- PRの前に安定した給料や職場の雰囲気、人間関係や休日をしっかりとるなどの対策をしたほうがよいと思います。
- 実際に現場で働く人のリアルな生活リズムだったり、給料、休日の情報を分かりやすくまとめる。（パンフレット等）
- 福祉業界はどんな仕事か分からない子たちも多いだろうから、良いイメージを伝えるのではなく、今の業界の仕事内容であったり、現状を包み隠さず伝えていけばよいと思った。

- アイドルなどの芸能人に施設や保育園に来てもらう。
- 中高生が参加しやすいような福祉・介護・保育のボランティアの機会を増やす。
- 福祉の勉強を小学校や中学校などで増やしていく。どんな仕事か、ボランティア活動を通し PR していく。
- 中高生の長期休みを利用しボランティアや職場体験できる環境を作り、その体験を通して福祉の良さを分かってもらえとよいと思った。
- ボランティアなどの募集をポスターなど大きく紹介する。ボランティア活動の映像を SNS で流す。

- 福祉の仕事を実際に中高生の皆さんに見学してもらう。
- 施設ボランティアや施設見学・体験などの機会を増やす。
- 保育見学の場合、職場体験で子供たちと触れ合うことや保育者との関わりや声を聞ける機会が大切だと思う。
- 福祉の仕事を体験、見学する。良いところだけをアピールせず、マイナスのことも分かってもらう。

- 実際に保育園や幼稚園で職場体験して、やりがいを感じる機会を作る。
- 職場体験がしやすい状況をつくる。例えば、体験したら何か特典があるような…。
- 認知度が高い施設について知ってもらうため、学校での職場体験等に取り入れる。
- 保育見学の場合、職場体験で子供たちと触れ合うことや保育者との関わりや声を聞ける機会が大切だと思う。
- 職場体験を全体で行う。福祉をモデルとしてアニメを制作する。福祉学科のある高校（中学）を増やす。福祉の重要性を入れた CM を作る。

- ネット（YouTube）等の広告で積極的に福祉の広告を入れていく。
- SNS を有効に活用し紹介する。公式アカウントであると信頼性は深いと思います。

- 活発に情報を発信していくために、学生がよく目にするツイッターやインスタグラム等の SNS を使っていく。
- SNS・動画共有サイト等への業務内容・職場環境の公開、及び知名度のあるタレント・ユーチューバーに宣伝の依頼。これにより若者の関心の向上が見込まれる。
- 新聞、電車広告、インターネット上広告等用いて、福祉職の求人を掲載する。福祉業界で活躍する人々の一言や歴史的に有名な福祉に関わる人々の言葉を集める→福祉の重要性、やりがい等、ポジティブなイメージを伝える。年を重ねることに対して、社会全体が前向きになるように働きかける。メディアで年金問題や死についてばかり伝える(ネガティブ)のではなく、人生の終わり等を豊かに暮らす為の制度や窓口の存在をキャッチーに伝える。

- TV、CM、アニメなどで紹介(CMを見て興味を持ってもらう)。絵本やイラストなどにして分かりやすく紹介する。
- 福祉の仕事のCMをあまり目にしないので、アニメなどにしてCMにする。
- 福祉をPRするようなCMを作成する。ポスター等を作り、目につく場所に貼る。

- 福祉の仕事内容を詳しく分かってもらうために漫画にして、分かりやすく紹介する。
- チラシで子供を保育してやりがいがあったことなど、イラストをつけて描いて配る。
- 福祉の仕事の楽しさを冊子にまとめて、漫画みたいにして読んでもらい、伝える。
- 福祉の仕事の種類や内容を示したパンフレット(写真付き)を中学・高校生に配布する。
- 職場環境を改善するなどより良い職場にし、積極的に伝える。(パンフレットなど)

- 福祉の仕事をもとめて貼ったり、漫画で紹介したりすることで興味を持たせる。
- 様々な園を紹介するために、映像やポスターを使う。福祉の現場を紹介するために子供たちなどの作ったものを展示会するなどする。
- 収入が低いなどのマイナスなイメージを無くし、プラスのイメージのPR等のポスターを作る。
- 福祉に関連した映画を上映する。福祉の仕事のメリットを伝える(ガイダンス・ポスター)。福祉に興味を持っている学生や、職場の人の意見を伝えていく。

- 福祉の仕事におけるやりがいや大切さを感じることができるよう映像や写真などを、アニメや感動的な映画(実話)で興味・関心を持っていただく。
- 福祉の仕事の様子などを分かりやすくまとめたドキュメンタリーなどを放送する。福祉のドラマを作成する。(実際にあった話で)
- 利用者様の笑顔や「ありがとう」の言葉がたくさん見たり聞いたりできる映像を紹介する。
- 人気のある若手俳優や歌手を使って、キラキラ系のドラマを作る。
- 悪いイメージを持っている方も多いと思うので、良い部分を見てもらえるような映像を作成しPRする。実際に体験できる場を設ける。
- 良いところばかりでなく、難しく厳しいところもあるがとてもやりがいがあり、人の役に立ちたいと強く思っている人にとっても向いているということを実際の映像を流してPRする。
- 実際に働いている人の1日や、やりがいなどをインタビューして映像にする。

- 具体的な給料、どのような暮らしになるのかなど、仕事の内容を含めた生活の様子を映像で紹介するなど。
 - 福祉職について知ってもらえるために、良い面だけでなく辛い点や裏の現状も含めて、アニメや SNS で発信すること。
 - 将来のビジョンをはっきりと提示する（業界で働く人）。福祉業界の良い面、悪い面を紹介する（楽しいことばかりではないことを伝える）。適性診断をしっかりと受け、仕事と合うか考えさせるアニメを作る。
 - 待遇改善及び行政が行っている内容を偽りなく伝えること。良いところだけでなくあまり良いとはいえない部分も例のようなアニメや講演会で伝える。
-
- 実際に現場で働いている職員や先輩が就職セミナーなどで福祉のアピールをする。
 - 情報を取り入れてもらい、しっかりしたイメージを持ってもらう。実際に体験してもらう。堅苦しいイメージをなくす。
 - 福祉を学び、福祉で働こうとしている学生による PR 動画を製作し、紹介する。実際に働いている人の講演会を開く。
 - 実際に福祉の現場に行き、利用者や職員と関わり、仕事内容や仕事のやりがいを知る。（プラス面とマイナス面の両方を知る）
 - 嘘をつかない。良い部分、悪い部分も含めて話し、そのうえでそこで働く職員のやりがいや辛いことなどの体験談を紹介の中に取り入れる。
 - 敬老の日など、様々な地方のイベント行事で啓蒙活動を図る。実際に車いす等を使って高齢者疑似体験など。
 - 今後の福祉業界の展望について PR する（将来性）。福祉の仕事について良かったことや目標等について PR する。
 - 働いている人の声も聞きたいが、その人が働いている職場の利用者さんの声も聞いてみたい。
 - テレビでは福祉業界のネガティブな部分にスポットを当てるような風習があるので、ローカルレベルでは実際にある施設を元に、ポジティブな出来事や取り組み等を普段福祉に興味のない人へ届くような PR。
-
- 分かりやすいイラスト、子供も見れる、興味が持てるような絵本を公共の場に置く。それは誰でも自由にもらえる。
 - 身近に「福祉」を感じる、知ることができる情報の提示。特別な誰かのものではないということの中高生のうちから伝えていけたら良いのではないか。
 - 高齢の分野は高齢の方しか関係ないと感じている方がたくさんいると思うので、もっと身近だと感じられるように啓発活動をする。
 - 障害を乗り越え、自立した生活を送れている障がい者さんの講演をする。
 - 福祉＝高齢者のイメージがあると思うので、他のこともアピールする。

調	査	票
----------	----------	----------

問 1 あなたの性別について、該当する番号に○を付け、年齢を記入してください。

1. 男 2. 女 年齢 () 歳

問 2 あなたの所属について、該当する番号に○を付け、学年を記入してください。

1. 専門学校 () 年 2. 短期大学 () 年
3. 大学 () 年 4. その他 ()

問 3 あなたの所属している学科に○を付けてください。

1. 介護系 (介護福祉士・介護職員初任者研修)
2. 保育系 (保育士・児童指導員・幼稚園教諭)
3. 相談・援助系 (社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事)
4. その他 ()

問 4 あなたが福祉に興味を持った時期はいつ頃ですか。 該当する番号に○を付けてください。

1. 小学生のとき 2. 中学生のとき
3. 高校生のとき 4. その他 ()

問 5 入学前に福祉に関する下記の項目で参加したことのある番号すべてに○を付けてください。

1. 福祉のボランティア体験 2. 福祉施設の見学 3. 福祉の職場体験
4. 福祉の資格取得のための実習 5. 参加したことはなかった

問 6 問5で参加したことがある方に伺います。

参加したきっかけについて、主に該当する番号1つに○を付けてください。

1. 自分から興味を持ったから 2. 親・友人に勧められたから
3. 先生に勧められたから 4. 学校の授業・行事で
5. その他()

問 7 現在の学校を選ぶうえで優先したことは何ですか。

該当するものを3つ選び、優先した順に1～3まで番号を付けてください。

- () 学費 () 通学に便利が良い所 () 両親の意見
() 先生の意見 () 友人・先輩がいること () 資格が取れる
() 資格の合格率 () 就職実績
() その他()

問8 「福祉の仕事」に関するイメージについて①～⑧の項目について、あてはまる番号に○を付けてください。

項目	非常に そう思う	まあ そう思う	どちらとも 言えない	あまり そう思わ ない	まったく そう思わ ない
① 福祉の仕事は、社会的に意義が大きい仕事である	1	2	3	4	5
② 福祉の仕事は、将来性がある仕事である	1	2	3	4	5
③ 福祉の仕事は、長く働くことができる仕事である	1	2	3	4	5
④ 福祉の仕事は、スキルアップしていける仕事である	1	2	3	4	5
⑤ 福祉の仕事は、知名度や評判が高い仕事である	1	2	3	4	5
⑥ 福祉の仕事は、収入が安定している	1	2	3	4	5
⑦ 福祉の仕事は、休日が取りやすい	1	2	3	4	5
⑧ 福祉の仕事は、向き不向きがはっきり分かれる仕事である	1	2	3	4	5

問9 卒業後の進路について伺います。

① 卒業後、福祉の職場への就職を希望していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 希望している 2. 希望していない 3. わからない

② ①で「希望している」と回答した方へ伺います。

どのような分野を希望していますか。該当する番号1つに○を付けてください。

1. 高齢 2. 障がい 3. 児童（保育） 4. 児童（保育以外）
5. 行政・社協 6. その他（ ）

③ ①で「希望していない」「わからない」と回答した方へ伺います。

その理由について、該当する番号1つに○を付けてください。

1. 他業種が気になる 2. 福祉の職場で働く自信がない
3. 親が反対している 4. その他（ ）

問10 仕事（就職先）を決めるにあたり重視することは何ですか。

重視することを3つ選び、重視する順に1～3まで番号を付けてください。

- （ ） 仕事の内容 （ ） 給料 （ ） 通勤に便利が良いこと
（ ） 新しい会社・施設であること （ ） 職場の規模
（ ） 休日が取りやすい等の働きやすさ （ ） 転勤がない所
（ ） 知人・友人・先輩等がいること （ ） 親・先生の意見
（ ） その他（ ）

問11 就職活動に際し、どんな情報が必要ですか。

必要と思うものを3つ選び、必要と思う順に1～3まで番号を付けてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> どこにどのような職場があるのか | <input type="checkbox"/> 希望する分野や職種の募集状況 |
| <input type="checkbox"/> 求人が出るタイミング | <input type="checkbox"/> 求人情報の入手方法 |
| <input type="checkbox"/> 職場体験・見学を受け入れているか | <input type="checkbox"/> 就職斡旋してくれる機関 |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

問12 就職活動に際し、活用していきたいものは何ですか。

活用したいものを3つ選び、活用したい順に1～3まで番号を付けてください。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 福祉人材センター | <input type="checkbox"/> ハローワーク |
| <input type="checkbox"/> 学校の就職課（先生等の意見） | <input type="checkbox"/> 実習・ボランティア |
| <input type="checkbox"/> 就職した先輩からの情報 | <input type="checkbox"/> 友人や家族からの情報 |
| <input type="checkbox"/> 就職情報誌 | <input type="checkbox"/> リクナビ・マイナビ等の就職サイト |
| <input type="checkbox"/> 学校が主催する就職ガイダンス | |
| <input type="checkbox"/> 各団体・企業等が主催するセミナーや就職説明会・合同面接会 | |
| <input type="checkbox"/> その他() | |

問13 就職するにあたって不安に思うことは何ですか。

問14 これからを担う中高生の皆さんに、福祉業界・福祉の職場で働きたい！と思ってもらえるように、どのようなPRや啓発活動を行うと良いかご意見をお聞かせください。

(例) 福祉の仕事をアニメ映像で紹介する。

ご協力ありがとうございました。

令和元年度
福祉の仕事・職場を目指す学生の意識調査
報告書

発行: 令和2年3月
発行者: 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
福祉人材センター
〒960-8141 福島市渡利字七社宮111
(福島県総合社会福祉センター内)
電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663
HP:<https://f-fjc.com/>
E-mail:jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計・印刷: タカラ印刷株式会社
〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9
電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302